

第 66 回日本神経化学学会大会 「神戸宣言」

本学会は日本神経病理学会との初めての合同大会を経験し、学会員は日本神経化学学会の存在意義をあらためて認識した。当学会を特徴付けるのは分子と疾患である。分子の異常がなぜ疾患を引き起こすのか、分子ターゲットからどのように疾患治療につなげるのかという本学会創設時の命題に対して、今こそ学会員の英知を集結して答える必要がある。これは決して先人に盲従することではない。先人が何を想い、何を解きたいと熱く思い焦がれたかを記録に残すとともに、神経・精神疾患撲滅への新たな地平を拓くことを学会として取り組む。まさに伝統の継承と強化を通じて、神経・精神疾患の克服に貢献する。

理事長：小泉修一 大会長：今泉和則 (2023年7月8日)